

軽トラ PHV 駆動切換え機構に弊社チェーンが採用

地球規模の温暖化に由来する環境問題の高まりを背景として、各種の産業分野で低炭素化に向けた様々な取り組みが急ピッチで進められています。弊社のコア事業領域である自動車分野では、排出ガス低減に有効なハイブリッド車(HV)が次世代自動車として注目されており、既に普及が拡大しています。弊社では、そのような環境対応車に適合するエンジン内チェーン及びそのシステムの製造販売を担っており、その他の幅広いニーズにも応えながら、地球環境の保護に貢献していきたいと考えています。

様々な環境対応車の開発・上市が進むなかで、エンジン車を電気自動車(EV)に改造するようなニーズもでてきており、市場の拡大が期待されています。この度、大型車を中心とした自動車整備業者の城東自動車工場は、プラグインハイブリッド車(PHV)に改造開発した軽トラックのナンバープレートを取得されました(プレス発表済み)。エンジンを残したまま、モーターとリチウムイオンバッテリーなどを新たに取り付け、スイッチでエンジン走行とモーター走行を切り換える機構が採用されています(特願 2012-010703)。同社ではターゲットを軽トラックに絞り、実証実験を通じた改良を重ねて事業化に繋げる考え。



上述した駆動方式の切換え機構には、モーターサイクル用ドライブチェーンで使用実績の多い DID50VAZ 及びスプロケットを推奨し、採用に至りました。自治体への貸し出しを予定している 2 号開発車を含め、今後の開発課題にも応えながら事業化への一助として貢献していきたいと考えています。

以 上